



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2021年12月28日



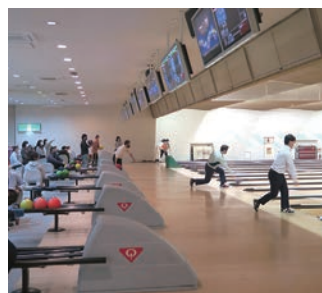
東北卸商業団地連絡協議会 意見交換会



懇親会で挨拶する西会長

新規組合員の(株)ヤブシタエンジニアリングが第二問屋町内で進めていた社屋改修工事がこのほど完了し、11月25日から営業をスタートした。同社は、札幌に本社がある冷熱関連部材メーカー(株)ヤブシタのグループ会社として、青森県内を中心に給排水・衛生設備や空気調和設備などの

ヤブシタエンジニアリングが組合に新規加入



ボウリング大会



優勝チームに江渡委員長が賞品贈呈

各種設備工事を手掛ける。これまでの社屋が老朽化し手狭となっていたため、取引先が多い卸団地への移転を模索。脱退を希望していた組合員跡地が条件に合致したため、リフォームして移転した。▽(株)ヤブシタエンジニアリング 代表者 外崎 匡洋 業務内容 管工事業 所在地 第二問屋町3-3 TEL 7633-5345

東北卸商業団地連絡協議会（会長 協青森総合卸センター 西理事長）の意見交換会が12月1日（水）にホテル青森で開催され、同会員12団地から理事長ら24名が参加した。また、全国卸商業団地協同組合連合会（商団連）の原田事務局長と商団連の保険商品を取扱う住友生命保険相互会社

の寺田室長がオブザーバーとして参加した。東北卸商業団地連絡協議会は東北6県にある卸団地15組合で組織する団体で、組合役員の交流会や組合事務局職員研修会等を定期的に開催し、卸団地に共通する様々な課題解決と地域卸業界の発展を期すために連携して取り組

東北の卸団地の理事長らが一堂に会す 東北卸商業団地連絡協議会

今回の開催は見送られていた。今回、感染状況が収束してきたタイミングで、意見交換会と題して対面での会議が開催されることとなった。会議では各団地が抱える課題や新規事業など現状報告を行い、会議後に開催された懇親会でも活発な意見交換がなされていた。参加者からは「オンライン会議ではできない、雑談の中から生まれる有益な情報交換が行えた」との感想が寄せられ、久々の対面での交流に顔をほころばせていた。

大熱戦が繰り広げられたボウリング大会
第45回問屋町ボウリング大会が11月26日（金）と12月3日（金）にアオモリボウルで開催され、15社から96名が参加した。昨年同様、コロナ感染症対策として密を避けるため2日間に分けて開催した。大会は1チーム3名の団体戦と個人戦が行われ、2ゲームのトータルスコアで順位が決定。団体戦は(株)吉田産業チームが2連覇を達成、個人戦男性の部が(株)日立物流東日本

の伊藤辰馬氏、女性の部は(株)吉田産業の蝦名えりか氏が優勝した。

公共施設等視察会の開催についてなど承認

第6回理事会

11月22日(月)に第6回理事会が開かれ、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは集団健康診断やインフルエンザ集団予防接種、第3回問屋町100日ウォーキングの結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、企画情報委員会からの意見について
公共施設等視察会の開催について承認された。

案件二、環境対策委員会からの意見について
案件三、第55回通常総会の日

程等について
案件四、2021年度第7回理事会の日程等について
理事会終了後には青森問屋町配送(株)の第2回取締役会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

源泉所得税などについて学ぶ 第2回税務研修会

11月29日(月)に問屋町会館1階会議室において第2回税務研修会が開催された。青森税務署の奥山審理専門官を講師に招き、青森法人会と共催で開催された同研修会には組合員ら12名が参加した。主な研修内容は次のとおり。

【源泉所得税について】
▽年末調整とは

1年間の給与総額が確定する年末にその年に納めるべき税額を正しく計算し、それまでに徴収した税額との過不足額を求め、その差額を徴収または還付し清算する手続き。▽年末調整の対象となる人
(1)1年を通じて勤務している人。
(2)年途中で就職し、年末まで勤務している人。
(3)年途中で退職した人のうち死亡により退職した人、あるいは著しい心身の障害のため退職した人で本年中に再就職ができないと見込まれる人、12月中に支給期の到来する給与の支払いを受けた後に退職した人。
▽年末調整を行う時
本年最後に給与の支払いをするとき。

▽保険料控除
(1)生命保険料控除には「一般の生命保険料」「介護医療保険料」「個人年金保険料」がある。
(2)「一般の生命保険料」と「個人年金保険料」は、保険の加入時期で「新生命保険料」と「旧生命保険料」がある。
(3)生命保険料控除額は12万円を超えてはならない。
▽源泉所得税納付書の提出
納税額が0円の場合は金融機関では取り扱わないため所得徴収高計算書を税務署に提出する。
▽今年度の改正内容
(1)源泉所得税関係書類は押印が不要となった。
(2)電磁的方法により申告書を提出する場合、税務署長の承認が不要となった。

(3)e-Taxによる申請の場合、スキヤナで読み取る方法等で作成したデータ送信で申請できるようになった。
研修ではそのほか、社宅等資産の仕入特例についても学んだ。



第2回税務研修会

久々の交流に笑顔があふれる 同友会・青友会 忘年会

青森問屋町経営同友会では、忘年会を兼ねた会員交流会を11月19日(金)に開催し、会員ほか20名が参加した。懇



豆つかみゲームをする参加者(同友会)

親会は、昨年の40周年記念式典以来1年振りの開催となった。

交流会の初めにはダイエツトグランプリ2021の測定員は2022年3月に予定しているファイナル測定会まで



久々の交流に乾杯(青友会)

各自設定した減量コースを目標にダイエツトに取り組み、測定結果に一喜一憂。その後、全員参加の豆つかみゲームなどを楽しみ、会は大いに盛り上がった。
また、問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第30回親睦交流会が12月8日(水)、ホテル青森で開催され、同会員ほか22名が参加した。こちらも1年10ヵ月ぶりの開催となり、お互いの近況報告など話が弾んでいた。久々の夜の会合にお酒も進み、会場は笑顔であふれていた。

死亡事故ゼロ9千日を目指し 交通安全対策事業実施

青森交通安全協会問屋町支部では、問屋町内交通安全死亡事故ゼロ9千日達成(2022

年6月18日予定)を目指し交通安全対策事業を実施した。10月26日(火)に第4回問屋町交通安全街頭指導が行われ、会員ら61名が参加。八ツ役五又路交差点で、のぼり旗や横断幕を掲げて通行車両に安全運転を呼びかけた。今年度の街頭指導は全4回開催され、延べ259名(平均65名)が参加した。

交通診断での協議により、これまでも関係機関の協力で様々な事故防止対策が講じられ、昨年度要望した歩行者専用信号機の未整備箇所2箇所、今年新たに信号機が設置された。



第4回交通安全街頭指導

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社



昭産商事株式会社青森支店

青森市問屋町2丁目15-9
電話 (017) 738-4551

創業 明治 39 年

- 計量器製造(経済産業大臣) ●計測器修理(青森県知事)許可
 - 建設業登録 ●機械器具設置工事業(青森県知事)許可(般-1)第15046号
 - 電気通信工事業(青森県知事)許可(般-1)第15046号
- 健康管理測定用機器(体組成計・血圧計・活動量計他)
レタースケール・キッチンスケール・アルコール検知機
測量機器・測定機器・観測機器・気象観測機器・試験機



株式会社 西衡器製作所

本社 青森市新町二丁目6番20号 TEL(017)773-1311 FAX(017)723-2368
青森支店 青森市第二期問屋町四丁目2番30号 TEL(017)739-9555 FAX(017)739-9557
八戸支店 青森市八戸センター一丁目5番16号 TEL(0178)21-8100 FAX(0178)21-8101
弘前支店 青森市弘前中央三丁目4番14号 TEL(0172)26-3890 FAX(0172)26-3891

西理事長が新会長に選任 県団地協議会総会

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会の第35回通常総会が11月17日(水)にホテル青森で開催された。

県内各地の卸団地から21名が出席して行われた総会では、出戸端会長(青森卸売業協理理事長)が議長に選出され、審議の結果、すべて原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では、新たな会長に当組合の西理事長が、副会長には協八戸総合卸センターの川崎理事長がそれぞれ選任された。

総会では青森県商工労働部



青森県流通団地連絡協議会 総会

の菅次長が、総会後に開催された懇親会では青森市経済部の百田部長がそれぞれ祝辞を述べ、商工組合中央金庫青森支店の長谷川支店長による乾杯の音頭で祝宴に入り、懇親を深めた。

業務報告

…主要事項…

- 11月
 - 1日▽協鳥取卸センター来訪
 - 8日▽ハラスメント対策セミナー
 - 10日▽安協間屋町支部間屋町交通診断
 - 11日▽間屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会
 - 16日▽金融審査会
 - 17日▽第2回企画情報委員会
 - 17日▽北日本流通ウァン(株)第2回取締役会
 - 18日▽県流通団地連絡協議会第35回通常総会
 - 19日▽第2回環境対策委員会
 - 第32回会員交流会
 - 22日▽第6回理事会
 - ▽青森間屋町配送(株)第2回取締役会
 - ▽第12回フrawワーアレンジメント教室(男性限定)
 - 26日▽第45回間屋町ボウリング大会(1日目)
 - 29日▽第2回脱税研修会
 - ▽間屋町ドローン体験会
- …間屋町…
ビジネススクール:
4日▽職場の「報・連・相」
10日▽営業初心者戦力化セミナー(チラシ編)
11日▽Y、S CLUB II A O M O R I ③
16日▽「聞く」コミュニケーション
17日▽中小企業大学校仙台台校新任管理者研修(19日)

経済雑感

第二一回

青森県世界文化遺産登録推進室
世界文化遺産
登録専門監 岡田 康博

第60弾となる今回の経済雑感は、青森県世界文化遺産登録推進室の岡田専門監にご寄稿いただいた。

【世界遺産がもたらすもの】
2021年7月27日、第44回世界遺産委員会拡大合会において青森県、北海道、岩手県、秋田県に所在する17の縄文遺跡群で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録が実現した(正式名称は Jonon Prehistoric Sites in Northern Japan)。

となったものの、その分しっかりとした準備ができたこともあって我々の主張がほぼ認められ、審査に際し、満点と言いたいほどの高い評価を受けた。地域の宝が世界の宝となったのである。



青森県世界文化遺産登録推進室
世界文化遺産登録専門監
岡田 康博氏

9月はコロナ禍のため休館していた遺跡も多かったが、再開と同時にツアーなどの団体旅行、個人や家族旅行など登録後の遺跡が多くなるの見学者が訪れ、さそく世界遺産効果があらわれているようだ。当然地元への経済効果もあるが、この点についてはさらに分析する必要があるものと思う。さて、世界遺産がもたらした

誇りといったものを持たないことである。なんと言つても国内の北海道・北東北以外にはない縄文遺跡の世界遺産がある唯一の地域であり、先人によって育まれた豊かな歴史と文化の価値を再認識する格好の機会ともなったわけである。他地域の縄文遺跡からは羨望的になつていると言えるだろう。

オフィスの総合ソリューションをご提案いたします

抗ウイルス 抗菌・防臭
丸ごと抗菌 IT・OA 機器 オフィス家具 事務用品 ウォーターサーバー

株式会社ヒグチ
HIGUCHI
青森市間屋町 1-15-22 ☎017-738-3661
<http://higuchi2014.com/>

入 学 生 募 集 !

—e sportsクリエイト専攻 スタート—
職業訓練法人 青森情報処理開発財団

あおもりコンピュータ・カレッジ
青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311
URL : <http://www.acc.ac.jp>

研究分野の試薬・消耗品・機器トータルソリューションを提供する

東北化学薬品株式会社
バイオインフォマティクス
臨床検査試薬
化学工業薬品
農業資材
食品

本社 Tel: 0172-33-8131 FAX: 0172-33-6800
八戸支店 Tel: 0178-45-2328 FAX: 0178-44-7629
青森支店 Tel: 017-738-4453 FAX: 017-738-0278
東京支店 Tel: 03-9866-9777 FAX: 03-3866-9735
仙台支店 Tel: 022-345-4870 FAX: 022-345-4495
秋田支店 Tel: 018-824-1201 FAX: 018-824-1166
岩手支店 Tel: 019-688-2271 FAX: 019-688-2440
山形支店 Tel: 0237-47-9988 FAX: 0237-47-0285
大船営業所 Tel: 0186-45-9568 FAX: 0186-45-0570
鶴岡営業所 Tel: 0235-24-9786 FAX: 0235-24-9875
米沢営業所 Tel: 0238-24-7662 FAX: 0238-24-7667
盛岡営業所 Tel: 019-601-7533 FAX: 019-645-8911
むつ小川原営業所 Tel: 0175-73-2271 FAX: 0175-73-2272
福島営業所 Tel: 024-597-8102 FAX: 024-597-8103
生命システム情報研究所 Tel: 019-691-7534 FAX: 019-645-8911

東北化学薬品株式会社
TOHOKU CHEMICAL CO., LTD.
TEL 0172-33-8131 FAX 0172-33-6800
<http://www.t-kagaku.co.jp/>
〒036-8655 弘前市大字神田一丁目3番地の1

いい夫婦の日に花の贈り物
フラワーアレンジメント教室

人気イベントであるフラワーアレンジメント教室が今年も「いい夫婦の日」にちなんで11月22日(月)に男性限定で開催された。問屋町会館



作品作りに励む参加者



講師が作り方を丁寧に指導

2階で行われた同教室には組合員従業員22名が参加した。フラワーアレンジメント教室は花の普及を目的に青森県花のくにづくり推進協議会の協力のもと開催され、今年で7年目。参加者は講師の指導のもと悪戦苦闘しながら1時間ほどで作品を作り上げ、完成させた。記念に作品の写真を撮影していた。

ドローン体験会を開催

昨年初開催し好評だったドローン体験会が11月29日(月)に青森市はまなす会館体育館で開かれ、組合員従業員7名が参加した。体験会では、国内有数のドローンパイロットである組合員コクサイ通信特機(株)の中村専務が講師を務めた。



ドローン操縦体験

参加者は講師の補助のもと、空撮等にも使用する大型ドローンを実際に操縦。カメラ付ミニドローンの映像を専用ゴーグルで見ながら遠隔操作するゲームも体験するなど、楽しみながらドローンの操縦法を学んだ。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、ブリヂストンタイヤサービス東日本(株)の野澤店長にお話を伺った。



ブリヂストンタイヤサービス東日本
青森店 店長
野澤 卓司 氏

同社は、ブリヂストンの直営店として平成6年3月に設立。大型トラック・バス用タイヤをはじめ、乗用車・バン用タイヤ、産業車両用タイヤ、建設車両用タイヤなどの販売とメンテナンスを行い、ブリヂストンの使命である「最高の品質で社会に貢献」を実現するために、高品質な製品をより良いサービスで提供できるように、お客様の安心安全を追求し続けている。「当社は日本の輸送の足を支えるため、ソリユ

ションという提案を含めた問題解決という部分に力を入れています。タイヤは消耗品ではありますが、同じコストでより長く大事にお使いいただくために、ローテーションや適宜のタイミングでタイヤ点検をするなどお客様の要望に合わせた最適なプランを提案します。トラックだけでなく自家用車のタイヤもローテーションすることでタイヤの減り方が変わり長持ちするので、ぜひ相談していただきたいです」とアピール。自身の今後の目標を聞くと「店長として店の売上を伸ばすことに注力したいです。最近

は時代の変化するスピードが速いのでいかに対応していくかをスタッフと話し合い、ベクトルを合わせて成果を出していくことが大事だと考えています」と話す。4年半ぶりに青森市に帰任した同氏に問うと「旧店の時は問屋町という住所でありながらも組合員ではなかったのですが、やっと一員になれたことが嬉しいですね。組合員になったことで得られる情報もありませんし、こちらからも協力していきたいと思っています」と熱く語る。(44歳)

編集後記

東北卸商業団地連絡協議会とは商団連主催の東北プロック会とは別に東北6県の卸団地が自主的に協議会を結成した組織です。各組合理事長による理事会と事務局代表による幹事会で構成され、卸団地に共通する様々な課題やその対策を生で話し合える貴重な会です。コロナ禍のため一年半ぶりのリアル会議でしたが充実したものとなりました。転話題。早くも師走となりました。2022年以降の経営戦略について「タナベ経営戦略セミナー」から一部紹介いたします。企業の「持続的成長に向けた経営課題」は次の三つだそうです。①激変する環境変化(不確実性の時代)への対応②価値観の変化(社会的価値重視)への対応③後継者不在の中での事業承継。2025年には日本の6割以上の経営者が70歳を超え、1.77万社で後継者が不足となる。への対応。以上の課題に對してタナベ経営は「変化に対応し企業が成長するためには、事業開発投資、設備投資、研究開発投資、M&A投資などの戦略投資により、自社の存在価値(バース)を軸に顧客価値と社会価値を実現する事業(ソリューション)の数と大きさを増やしていく必要がある」と指摘します。▼「BCG(ボストン・コンサルティング・グループ)の「次の10年で勝る経営」(2020年)では「企業のバース(存在価値)に立ち還る」が副題ですが、同じコンセプトが語られています。▼つまり内外の有名コンサルのトレンドは「企業経営者は社会的価値を理解し、経営の中核に置かなくてはならない状況になぞる」との認識を共有しているみたいです。▼ということで皆様、良いお年をお迎えください。(藤本)

BSN BRIDGESTONE
ブリヂストンタイヤサービス東日本株式会社
タイヤサービス青森店
問屋町1-7-11 TEL:017-738-6600

建設工事の合理化を実現する
MARUI
丸井産業株式会社
〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目11-6
TEL 017-753-0101 FAX 017-728-0101